授業科目 発達障害作業療法学演習

【 担当教員名 】	対象学年	3	対象学科	作業
永 井 洋 一	開講時期	後期	必修·選択	選択
	単位数	1	時間数	30

【概要·一般目標:GIO】

発達障害作業療法学と並行して、発達障害児の作業遂行を可能にするための援助方法について、具体的実践の方法を習得する。

【 学習目標・行動目標: SB0 】

- 1. 発達障害児で阻害される作業遂行課題とその遂行要素について分類する。
- 2. 時期別に身体的・精神的障害が発達に及ぼす影響を分析できる。
- 3. 家族の支援について適切な方法を提案することができる。
- 4. 作業課題の具体的障害について、模擬的に演じることができる。
- 5. 作業遂行を可能にする指導・援助について、その方法を模擬的に示すことができる。
- 6. 発達障害児を想定し、次のいずれかをグループごとに発表することができる:
 - 1)子どもの指導に使える玩具又は遊具を立案・設計する(模型など)。
- 2)子どものADLを援助する自助具を立案・設計する(模型など)。
- 7. 遊びそのものの援助とその治療的利用について,原理と方法を説明することができる。

回数		授業計画・	SB0 番号						
1	発達障害と作業	の障害~ライフ・ステージ	と作業療法			1	講義・言	討議	
2	障害が身体面に	及ぼす影響				2	討議		
3	障害が精神面に	及ぼす影響				2	討議		
4	子どもの障害が	「家族に及ぼす影響とその支	援			3	講義・語	討議	
5	食事の障害とそ	の援助(1)				4, 5	講義・3	実習	
6	"	(2)				"	"		
7	更衣の障害とそ	の援助				"	"		
8	入浴の障害とそ	の援助				"	"		
9	排泄の障害とそ	の援助				"	"		
10	遊びと学習の障	びと学習の障害							
11	遊びの援助と治療的利用						"		
12	遊具・自助具制作(1)						"		
13	"	(2)				"	"		
14	"	(3)				"	"		
15	遊具・自助具の)発表				"	発表		
ľ	使用図書】	<書名>		<著者名>		<	発行所>	<発行年	・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)									
4		脳性麻痺児の家庭療育(第	3版) F	Finnie, R. 、(鈴z	木、梶浦:訳)	医	歯薬出版	1999 • 3, 5	500円
	参考書	障害をもつ子の遊びカタロ	1グ :	加藤正仁		学	研	1984 • 3, 0	000円
7	その他の資料	授業時に配布する						-	
【評	価方法 】		【履修上の留						

出席:10% 授業態度:20% レポート: 40% 発表: 30% 人間発達、小児科学、発達障害作業療法評価学、同実習の単位を取得していなければ

ならない